

総括質疑

3月定例会では、5人の議員が会派を代表して令和2年度予算に対する総括質疑を行いました。



総括質疑とは、本会議で市長(執行機関)に対し、一般会計予算、特別会計予算及び公共下水道事業会計予算について総括的に疑義を問うことをいいます。予算や決算の議案内容は膨大なため、総括質疑の後、3つの常任委員会での所管ごとに、より具体的な審査を行っています。

令和2年度予算に対する市長の見解について



創政会 小沼 富夫

Q しあわせ創造都市いせはらの実現に向けて施策を着実に推進していく必要があると考えるが、令和2年度予算に対する市長の見解を聞きたい。

A 【市長】市制施行50周年を迎えつつある中、伊勢原大山インターチェンジの開通など、環境変化に適切に対応する予算とし、産業振興などを通じて地域活性化に着実な道筋をつけていく。

一方、自然災害や感染症に対する懸念など、市民生活の安全安心に留意するとともに、選ばれたまち伊勢原の実現に向け、子育てや教育に係る施策の充実を図った。

小児医療費助成制度対象年齢拡大やハザードマップの更新など、直面する諸課題へ適切に対応する予算とし、第5次総合計画を着実に推進するという基本的な考えの下、

中小零細企業への対応について



いせはら未来会議 相馬 欣行

Q 施政方針では、新型コロナウイルスに対する本市の危機管理体制の充実・強化が述べられている。市内中小零細企業の経営についても影響が出るものだが、対応状況について聞きたい。

A 【経済環境部長】新型コロナウイルス感染症によって機械部品等の輸入の遅延等、生産活動への影響が懸念される。

そのため、本市では、通常より低い取引価格の設定を押しつけないことや生産体制が整っていないことにより取引を解消しないことなどを明記した緊急要請文を、市商工会へ送付した。市内の中小企業や小規

模事業者に対する影響を最小限とすることが必要であると認識しており、引き続き、近隣自治体等の対応状況や景気動向を注視しながら、支援策を検討していく。

「医療通訳派遣システムや通訳支援事業の活用による効果」について



公明党 中山真由美

Q 医療通訳派遣システム事業は、県内69の協定医療機関からの依頼を受け、必要に応じ医療通訳ボランティアを派遣しているとのことだが、どのような効果を考えているのか。

A 【市民生活部長】システムの利用については、外来診療、治療方針の説明や医療費の相談等、医療機関からの依頼に基づき、医療通訳ボランティアを派遣しており、県内全体の平成30年度の派遣件数は、7144件であった。年々、増加傾向で、今後も増加が見込まれており、各医療機関等において、一定の効果が認められていると考えている。

市民の暮らしの状況認識について



日本共産党 宮脇 俊彦

Q 市民の暮らしが厳しい状況の中、所得格差の拡大が進んでいると考えるが、この状況をどう認識しているか見解を聞きたい。

A 【市長】景気は緩やかな回復基調を継続しており、本市の総所得金額についても、1人当たりの所得金額は、上昇傾向が続いている。

しかし、消費税率の引き上げや多発する自然災害等の影響により、負担の増大を感じている市民も多いことを認識している。

今般の新型コロナウイルスの流行等をはじめ、経済情勢の先行きに不安要素がある中であるが、景気動向を注視しながら、市民に安心と希望を持ってもらえる市政運営に取り組んでいきたいと考えている。

令和2年度 議会費予算

今年度の議会費予算の概要は次のとおりです。市の一般会計(歳出)に占める割合は約1%です。

区分	金額	主な内容
報酬	1億611万6千円	・議員報酬
給料	2,939万7千円	・職員給料
職員手当等	6,816万6千円	・議員期末手当 ・職員諸手当
共済費	4,741万8千円	・議員共済費 ・職員共済費
報償費	8万9千円	・各種行事等議長賞
旅費	155万3千円	・所管事項調査旅費 ・普通旅費
交際費	38万5千円	・議長交際費
需用費	250万4千円	・議会だより印刷代 ・図書追録代
役務費	533万6千円	・議会だより配布手数料 ・会議録反訳料
委託料	511万3千円	・インターネット映像配信システム管理運営
使用料及び賃借料	481万9千円	・インターネット映像配信用設備賃借料 ・議会用タブレット端末等導入費用一式
負担金、補助及び交付金	557万円	・政務活動費交付金 ・議長会等負担金
合計	2億7,646万6千円	

予算編成過程における議論の必要性について



神奈川ネット 土山由美子

Q 次年度予算について十分な情報提供や、意見交換等が活発に行われることは、よりニーズに対応した公共サービスが可能となると考える。

A 【市長】予算編成において、広範な意見を踏まえることは大変重要と認識している。

予算編成方針を含む予

算編成に関わる様々な議論は、予算編成過程に限らず、常に予算編成及び予算執行に意識を置いている。

一般質問をはじめ議員各位との活発な議論のほか、様々な機会でも、より議論を深めながら、市民福祉の維持、向上に向けた予算編成に取り組んでいく。

令和2年度各会計予算総括表

会計名	予算額	対前年度伸率(%)	
一般会計	344億 400万円	1.3	
特別会計	国民健康保険事業	97億6,500万円	-1.7
	用地取得事業	6,700万円	131.0
	介護保険事業	71億1,600万円	3.3
	後期高齢者医療事業	14億1,900万円	10.5
公営企業会計	公共下水道事業	59億3,800万円	-2.8
合計	587億 900万円	0.9	

